

上限運賃化実証実験の実施経過

2011年
10月1日

バスの運賃が変わりました!!

バスを使って
もっと便利に
さらに
お得に!!

市内のバス運賃が
1乗車あたり
上限 **300円**
50円刻み
初乗り150円

市内のバス運賃が
1乗車あたり
上限 **500円**
50円刻み
初乗り150円

環境にやさしい新しいバス生活をはじめよう!!

目次

●事業概要	-----	2
●乗降実態調査	-----	3
●住民アンケート	-----	6
●高校生アンケート	-----	7
●ヒアリング結果	-----	8
●上限運賃化の効果のまとめ	-----	9

●事業概要

2011年
10月1日
バスの運賃が変わります!!

バスを使って
もっと便利に
さらに
お得に!!

環境に、健康にやさしい、新しいバス生活を始めよう!



◎超高齢社会の到来・地球温暖化対策・中心市街地の活性化などの行政課題を背景に公共交通たるバス交通の果たす役割は今後益々増大
◎バス交通は定住と交流のために不可欠な『社会活動の基盤』
■バスの移動時間の長さや運賃が高いことが不満(H22住民アンケートのうちの八戸市民の意見)

八戸市民の《活動・交流を促進・支援》するため、八戸市内のバス路線において、初乗り150円・50円刻み・上限300円の運賃改定を行う実証実験を実施(H23年10月1日から概ね2年間)

八戸市内のバス運賃が
1乗車あたり

上限300円

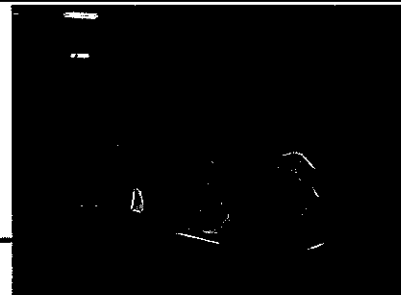
50円刻み
初乗り150円

8市町村をつなぐバス運賃が
1乗車あたり

上限500円

50円刻み
初乗り150円

お得で、分かりやすい運賃体系の実現により、通学生や高齢者等の移動制約者は勿論のこと幅広い層の利用を取り込み、持続可能な公共交通システムへの転換を図るとともに、公共交通で便利に暮らせることをアピール



ただ単に運賃改定を行うのみならず、中心街等での街頭パフォーマンスや八戸市出身お笑いコンビ「あどばるーん」出演番組による多角的な広報戦略も実践

例えばこんなにお得に!!

<p>300円改定利用</p> <p>153%</p> <p>710円</p> <p>300円</p>	<p>300円改定利用</p> <p>148%</p> <p>580円</p> <p>300円</p>	<p>500円改定利用</p> <p>155%</p> <p>1,120円</p> <p>600円</p>	<p>学生運賃</p> <p>124%</p> <p>23,780円</p> <p>17,980円</p>	<p>高齢者減額乗車券</p> <p>164%</p> <p>1,750円</p> <p>800円</p>
---	---	---	---	---

中心市街地の活性化・周遊性向上も視野に中心街一日乗車券『まちパス300』も発行!

●乗降実態調査（OD調査）1：実施概要

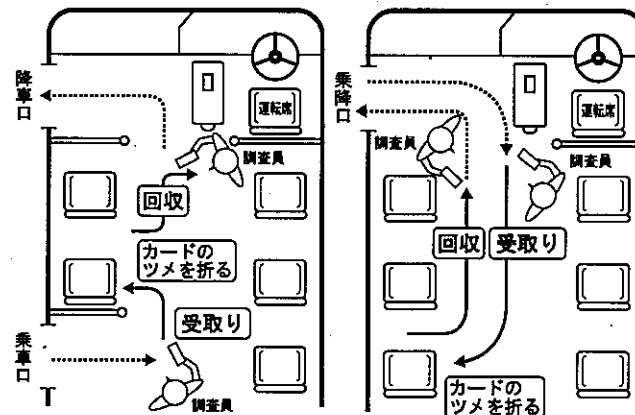
実験前

- 調査期間（9月調査：上限運賃化前）
平成23年8月24日（水）～平成23年9月29日（木）
- 調査対象
平日・土曜・日曜に運行している全便を1回ずつ調査
- 乗車人員（八戸市内：平日：特別乗車証・不明を除く）
八戸市交通部:定期3,945人、定期外7,249人、計11,194人
南部バス:定期466人、定期外2,241人、計2,707人
十鉄バス:定期1人、定期外67人、計68人
(計 13,969人)

実験後

- 調査期間（11月調査：上限運賃化後）
平成23年11月5日（土）～平成23年12月11日（日）
- 調査仕業数・調査員数
平日・土曜・日曜に運行している全便を1回ずつ調査
- 乗車人員（八戸市内：平日：特別乗車証・不明を除く）
八戸市交通部:定期4,306人、定期外7,890人、計12,196人
南部バス:定期485人、定期外2,334人、計2,819人 ※9.0%増加
十鉄バス:定期6人、定期外86人、計92人 ※4.1%増加
(計 15,107人) ※1,138人：8.1%増加

調査の流れ



バス利用者全員に配布した調査カード

バス利用調査カード		バス利用調査カード	
運行会社 八戸市交通部・南部・十鉄		以下の質問について、あてはまる人または1つずつ選んでお答えください。お答えの欄に調査員にお返しくたさい。必ずお答えください。一頁選んでお返しくたさい。	
普通回数券	現金	普通回数券	現金
通学回数券	運賃の支払方法	通学回数券	特別乗車証 (はつらつ)
通勤定期		特別乗車証 (はほえみ)	
通学定期	一日乗車券・その他	通勤定期	一日乗車券・その他
週3日以上	最近のバス利用回数	週3日以上	月1～3日
週1～2日		月1回未満	
通勤	バスの利用目的	通勤	買物
通学		私用・その他	
通院・通所 その他	業務 (出張等)	通院・通所 その他	業務 (出張等)
～14歳	年齢	～14歳	30～49歳
15～18歳		50～64歳	
19～29歳		65歳以上	
男性	性別	女性	

バス利用調査にご協力お願いします

○裏面の質問について、あてはまる答えを1つずつ選んで折り込みお降りの際に調査員にお返しくたさい。
○正しいの調査ですので、以前お返じいただいた場合でもお返しくたさい。

調査員記入欄
調査員氏名
調査員番号
調査員印
調査員印
調査員印
調査員印

ご協力ありがとうございました

●乗降実態調査（OD調査）2：市内路線の利用者数の変化

- 市営バス 定期外が8.8%、定期が9.2%増加、特に多賀台団地の定期外が増加
- 南部バス（市内路線） 定期外が4.2%、定期が4.1%増加、特に八戸駅線やニュータウン関連路線の定期外が増加 ※広域路線の市内300円区間を除く
- 十鉄バス（市内300円区間） 定期外が28.4%増加、定期も大幅に増加

市営バス 平日 路線別 券種別 利用者数の変化

路線名	定期			定期外			定期・定期外計		
	9月	11月	11月-9月	9月	11月	11月-9月	9月	11月	11月-9月
旭ヶ丘線	189	205	16	805	840	35	994	1,045	51
工業大学線	190	252	62	232	228	-4	422	480	58
高専線	363	429	66	515	595	80	878	1,024	146
根城線	14	20	6	32	32	0	46	52	6
鮫線	451	469	18	920	1,018	98	1,371	1,487	116
種差線	6	6	0	51	78	27	57	84	27
是川団地線	535	581	46	575	644	69	1,110	1,225	115
多賀台団地線	469	533	64	771	906	135	1,240	1,439	199
町畑線	79	98	19	240	262	22	319	360	41
南高校線	176	156	-20	171	181	10	347	337	-10
日計線	192	215	23	312	354	42	504	569	65
八戸ニュータウン線	103	124	21	257	223	-34	360	347	-13
八戸駅線	559	531	-28	1,241	1,307	66	1,800	1,838	38
美保野線	40	54	14	54	84	30	94	138	44
平庭線	86	83	-3	173	158	-15	259	241	-18
岬台団地線	493	550	57	900	980	80	1,393	1,530	137
市営バス 計	3,945	4,306	361	7,249	7,890	641	11,194	12,196	1,002

南部バス 平日 路線別 券種別 利用者数の変化

路線名	定期			定期外			定期・定期外計		
	9月	11月	11月-9月	9月	11月	11月-9月	9月	11月	11月-9月
北高岩駅線	20	14	-6	8	4	-4	28	18	-10
一日市(八日町)線	26	43	17	87	98	11	113	141	28
一日市(市民病院)線	18	19	1	16	15	-1	34	34	0
八戸駅線	230	218	-12	695	764	69	925	982	57
ニュータウン関連路線	27	34	7	121	188	67	148	222	74
市民病院～八戸駅線	9	10	1	47	50	3	56	60	4
荒谷線	7	9	2	48	40	-8	55	49	-6
ニツ家線	12	10	-2	95	91	-4	107	101	-6
是川団地線	4	3	-1	31	44	13	35	47	12
ピアドウ・ラピア線	12	16	4	272	239	-33	284	255	-29
岬台団地線	0	5	5	161	167	6	161	172	11
るるっぶ八戸線	8	6	-2	299	210	-89	307	216	-91
河原木団地線	61	70	9	152	176	24	213	246	33
お買い物ライナー	0	1	1	51	57	6	51	58	7
八食200円以下バス	0	0	0	46	72	26	46	72	26
市ノ沢線・軽米線	32	27	-5	112	119	7	144	146	2
市内路線 計	466	485	19	2,241	2,334	93	2,707	2,819	112

十鉄バス 平日 路線別 券種別 利用者数の変化

路線名	定期			定期外			定期・定期外計		
	9月	11月	11月-9月	9月	11月	11月-9月	9月	11月	11月-9月
十和田八戸線	0	1	1	32	42	10	32	43	11
八戸線	1	5	4	35	44	9	36	49	13
十鉄バス 計	1	6	5	67	86	19	68	92	24

50人以上増加

50人以上減少

●乗降実態調査（OD調査）3：路線別の一人あたり運送収入の変化

●市営バス

多賀台団地等長距離線で40円/人程度、運賃負担が減少

●南部バス（市内300円上限区間）

荒谷線、軽米線、大野線（市内区間）、石鉢線（市内区間）が50円/人以上、運賃負担が減少

●十鉄バス（市内300円上限区間）

十和田八戸線で23円/人、八戸線で10円/人、負担が減少

市営バス 平日 路線別 1人あたり運送収入(上限運賃適用後)

路線名	1人あたり運送収入 (上限運賃適用後)		
	9月	11月	11月-9月
旭ヶ丘線	162.21	157.24	-4.97
工業大学線	172.45	148.74	-23.71
高専線	159.84	150.26	-9.58
根城線	183.33	143.14	-40.20
鮫線	169.75	164.31	-5.43
種差線	217.60	229.95	12.35
是川団地線	158.51	151.55	-6.95
多賀台団地線	214.66	176.86	-37.81
町畑線	184.30	170.19	-14.11
南高校線	148.98	143.75	-5.23
日計線	178.67	165.79	-12.87
八戸ニュータウン線	186.26	170.59	-15.67
八戸駅線	184.75	173.41	-11.34
美保野線	188.21	165.04	-23.17
平庭線	185.21	168.98	-16.23
岬台団地線	177.51	163.23	-14.29
総計	177.17	163.66	-13.51

十鉄バス 平日 路線別 1人あたり運送収入(上限運賃適用後)

路線名	乗降パターン	1人あたり運送収入(上限運賃適用後)		
		9月	11月	11月-9月
十和田八戸線	八戸市内	249.75	226.21	-23.54
(十和田八戸線全体)		492.41	372.45	-119.95
八戸線	八戸市内	224.39	214.53	-9.86
(八戸線全体)		442.84	386.11	-56.73
十鉄バス 計		468.82	378.64	-90.19

■ 100円/人以上減少 ■ 50円/人以上減少

南部バス 平日 1人あたり運送収入 11月-9月

路線名	300円上限区間		
	9月	11月	八戸市内
北高岩駅線	121.65	110.97	-10.68
一日市(八日町)線	172.05	154.62	-17.43
一日市(市民病院)線	135.39	117.20	-18.19
八戸駅線	162.38	161.94	-0.44
ニュータウン関連路線	179.20	158.93	-20.27
市民病院~八戸駅線	209.11	176.26	-32.85
荒谷線	259.35	185.43	-73.92
二ツ家線	138.70	146.59	7.88
是川団地線	179.55	168.70	-10.84
ピアドゥラピア線	148.20	152.60	4.40
岬台団地線	225.59	191.78	-33.81
るっぶ八戸線	182.89	170.65	-12.24
河原木団地線	164.30	165.36	1.06
お買い物ライナー	179.50	181.16	1.66
八食200円以下バス	194.88	185.48	-9.40
市ノ沢線・軽米線	285.35	204.11	-81.23
市内路線 計	176.86	165.62	-11.24
(南部)三八線(相内経由)	169.09	169.26	0.16
(南部)三八線(広場経由)	200.45	173.39	-27.06
(南部)福田線	153.54	181.44	27.90
(南部)苦米地駅通り線	184.04	161.77	-22.27
(南部)階上循環線	194.09	171.78	-22.32
(南部)階上中学校線	187.01	176.35	-10.66
(南部)階上庁舎線	184.64	180.28	-4.36
(南部)大野線	232.09	179.85	-52.24
(南部)八戸線(高館経由)	242.50	214.64	-27.85
(南部)八戸線(扇田経由)	241.29	203.33	-37.96
(南部)田子線	-	-	-
(南部)西越線	-	-	-
(南部)金ヶ沢線	-	-	-
(南部)諏訪ノ平線	-	-	-
広域路線 計	194.88	181.76	-13.12
(南部)ハートフルプラザ線	201.03	189.34	-11.70
(南部)石鉢線	217.21	160.46	-56.75
(南部)相内~田子高校線	-	-	-
(南部)三戸市内線	-	-	-
(南部)田子高校線	-	-	-
(南部)三戸小学校線	-	-	-
(南部)泉山線	-	-	-
重複路線 計	207.26	173.12	-34.13
南部バス 計			-11.87

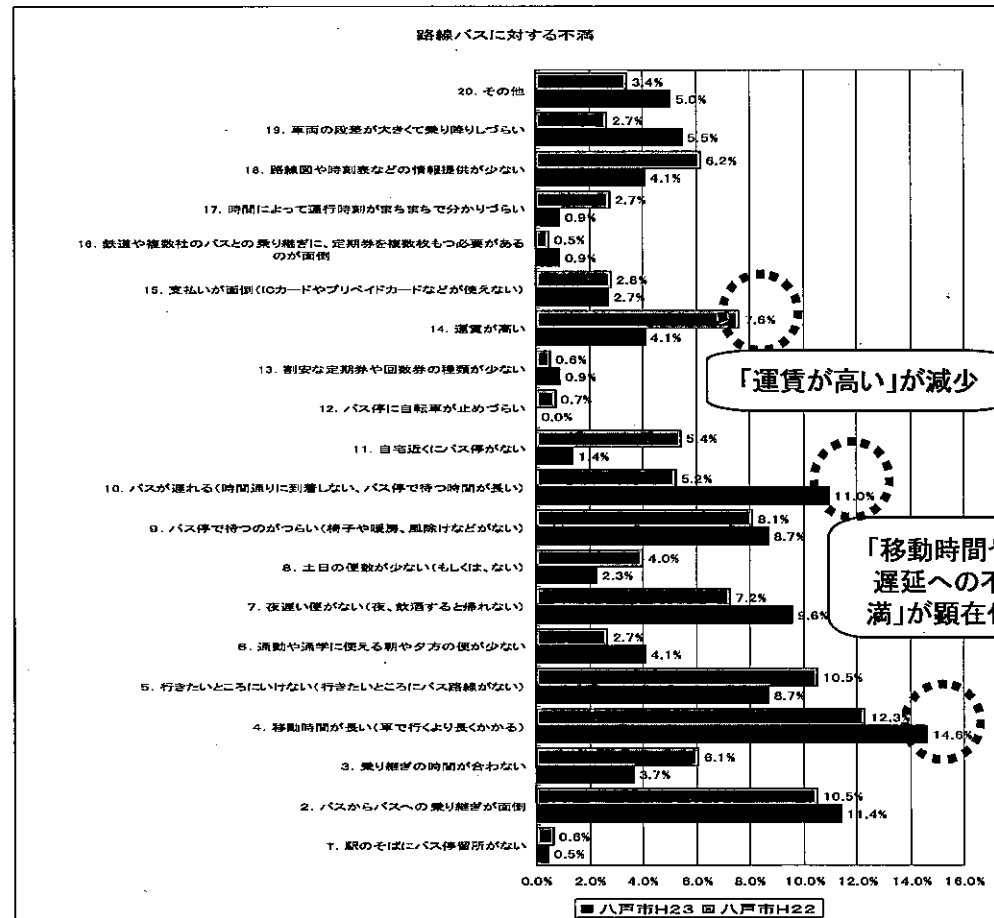
●住民アンケート調査（八戸市内）：利用や意識の変化

実験前

- 調査期間：平成22年6月26日～7月29日
- 回収数 八戸市分345人（全体1,402人）
- 実験前は運賃が高い（第1位）15.1%

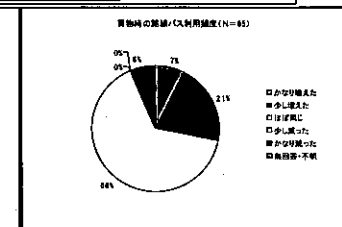
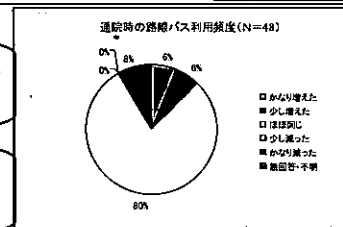
実験後

- 調査期間 平成24年2月14日～3月1日（引続き実施）
- 回収数 八戸市分242人（全体519人）
- 実験後のバス利用 買物時29%、通院時12%増加
（市内平均22%、広域平均44%）
- 実験後（バスへの不満1位比較）
「運賃が高いとの不満」が減少
- ※その反面、バスの便数や遅延への不満が顕在化
（注：前回調査が夏期、今回調査が冬期）



「通院時：実験後バス利用が増えた」が12%：左

買物時：実験後バス利用が増えた」が28%：右



●高校生アンケート調査（八戸市内）：利用や意識の変化

実験前

●調査期間・対象

平成22年6月～7月、市内高校生1,657人

●実験前は運賃が高い（第1位）18.4%

実験後

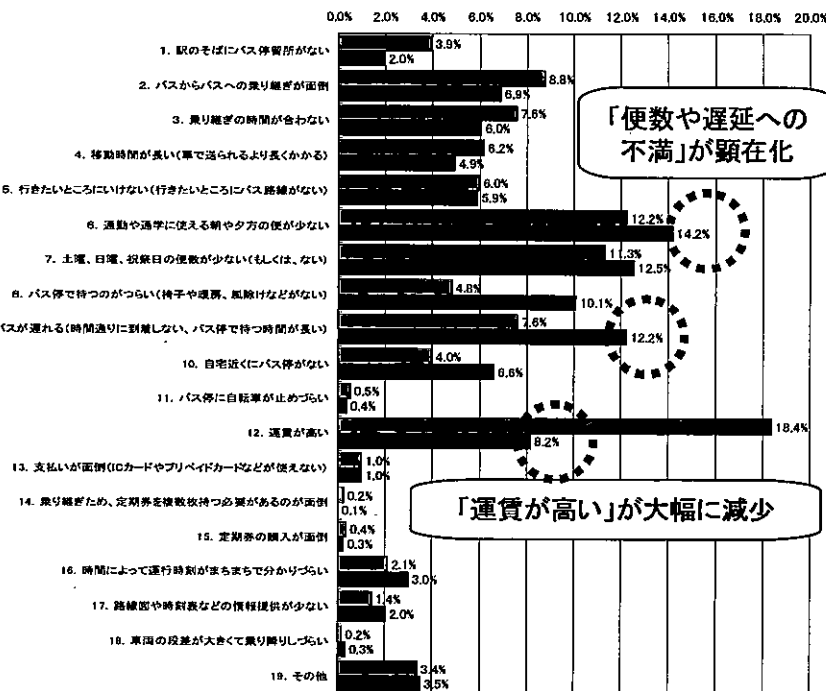
●調査期間・対象

平成24年2月、市内高校生2,097人

●実験後

- ・運賃が高いとの意識が大幅減
- ・高校生のバス利用が14%増加
- ・通学費が減った高校生が34%
- ・多くの高校生が恩恵を受ける

バスへの不満1位の割合変化(八戸市内高校)

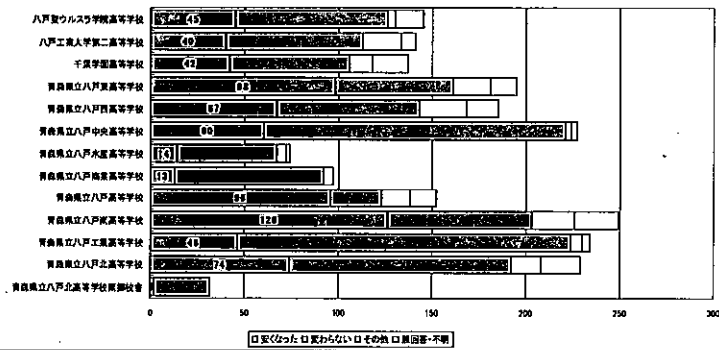


「便数や遅延への不満」が顕在化

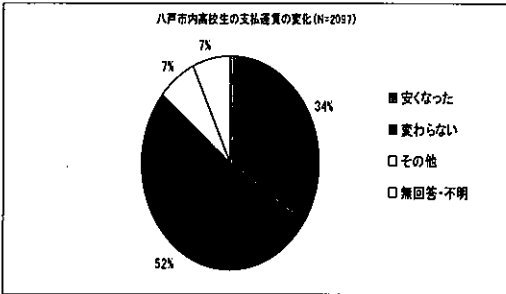
「運賃が高い」が大幅に減少

■ H22八戸市内高校計 ■ H23八戸市内高校計

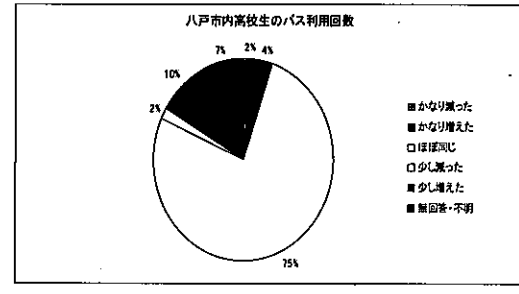
八戸市内高校別支払運賃の変化



「通学費が減った」が34%



「バス利用が増えた」高校生は14%



●ヒアリング調査：利用や意識の変化

●調査期間 平成24年1月

●調査場所

<病院> 労災病院、八戸日赤病院、八戸市民病院

<大規模小売店舗> cino八戸、ラピア、三春屋、さくら野、ピアドゥ

●調査人数 八戸市内病院324人、八戸市内店舗516人

●調査結果

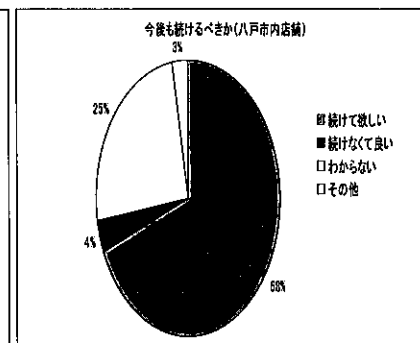
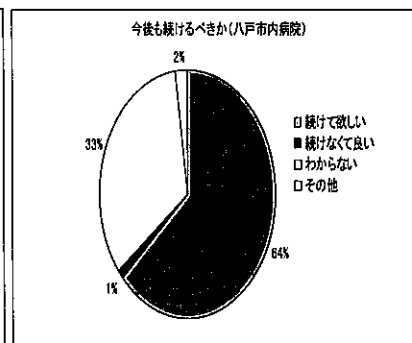
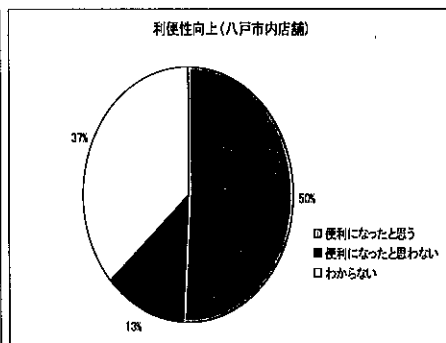
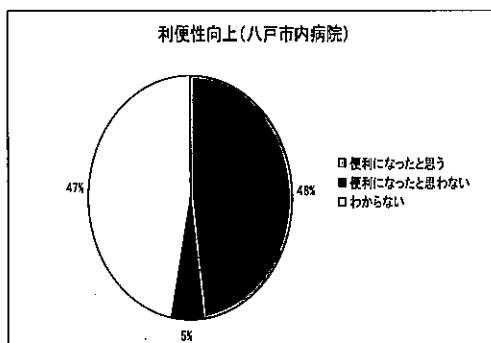
上限運賃化で便利になった：病院44%、店舗50%

※理由：支払額が少なくなった、小銭の準備のわずらわしさが解消した

上限運賃化も今後も続けるべき：病院64%、店舗68%

<利便性向上>

<今後も続けるべきか>



●上限運賃化の効果のまとめ（平成23年10月～平成24年2月）

●バス利用の促進

- 実験開始後、市内300円区間で1,138人が増加（8.1%増加）
- 市営バスは多賀台団地線などで特に増加
- 南部バスは八戸駅線などが増加
- 十鉄バスは十和田八戸線、八戸線ともに増加

●運賃負担の減少

- 市営バスは多賀台団地線などで40円/人減少、南部バスは荒谷線・軽米線などで50円/人減少、十鉄バスは10円/人～23円/人減少

●バスが便利に

- バス利用が増えた人が買物で28%、通院で12%（住民アンケート）
- 通学費が減った高校生が34%、バス利用が増えた高校生は14%（高校生）
- 支払い額が減ったことや小銭を用意しなくて良いので、バスが便利になったとの声が店舗で50%、病院で44%（施設アンケート）

●実験継続を求める声が多数

- 利用者も高校生も継続を望む声が多数

